



真実を求め
真実を語り
真実を行う



令和6年度妻中学校だより

2024年10月

10月号



妻中HP

校長

伊東 泰彦

この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

秋桜祭を開催、盛り上がりました！

長年、文武両道を学校目標に掲げてきた本校では、二年前より文化祭と体育大会を同時開催とし「秋桜祭文化の部体育の部」として実施しています。今年は10月12・13日に開催しました。同時開催は、準備や練習の大変さはあるものの、文・武両方の相乗効果で絶大な

盛り上がりを見せました。本校の伝統にしていこうと昨年度生徒会執行部と協議して決めたところです。今年は最高の秋空の下で体育の部を実施することができました。生徒の主体性が発揮され、全員の気持ちが一つとなり素晴らしい盛り上がりを見せました！



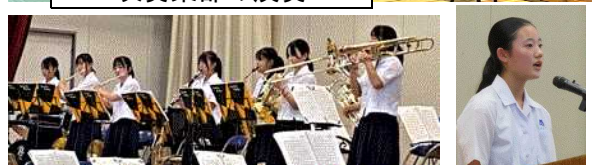
英語暗唱・弁論



優勝した3年3組



吹奏楽部の演奏



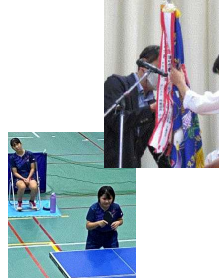
一方、文化の部もアカデミックな雰囲気を出しました。質の高い英語暗唱・弁論、迫力のある吹奏楽の演奏の他、合唱コンクールではクラスの心が一つになった素晴らしい歌声が披露されました。結果発表時の生徒達の祈り込む姿を見ると、当日までの道のりや本番で力を出し切った姿が思い出され、清々しい気持ちになりました。妻中・秋桜祭も来年を残すのみ、ぜひこの伝統を継承していきましょう！

大会での活躍！

水泳部・県大会総合優勝！
(昨年に引き続き2連覇)



卓球女子



バドミントン女子



サッカー



バレー男子

県・秋季大会・水泳団体：総合優勝【1位】男子4×100フリーリレー、メドレーリレー、黒木幸輝(100m 自)【2位】黒木幸輝(100m 自)、増田朝光(100m バタ)、200m 個人メド

西都児湯・秋季大会 団体【優勝】卓球女子、バドミントン女子、サッカー、バレー男子、陸上：共通男子4×100m リレー、共通女子4×100m リレー

【準優勝】バスケット男子、バスケット女子、バドミントン男子、ソフトテニス男子

個人(バドミントン) 男子S) 3位：森田己太郎、久保満悠人、女子S) 3位：田中心結、女子W) 1位：林・有馬ペア、2位：岩切・高砂ペア、3位：島地・川ロペア、沼ロ・杉尾ペア／ソフトテニス)

男子) 5位：北村・川野ペア、女子) 5位：井上(新)・井上(瑞)ペア／卓球女子) 1年S) 1位：濱砂結愛、2位：橋本ひなた、5位：瀬戸口真未／陸上男子) 2年(500m) 1位：楠泰駕、3位：寺村陽希、共通(800m) 2位：緒方琉翔、共通(走幅) 1位：湯野官昊、陸上女子) 1年(100m) 2位：河野梨奈、2年(800m) 2位：宮野原玲奈、共通(500m) 1位：肥田木琴葉、3位：小畑めぐ

錬成会(弓道) 男子団体) 優勝：妻中学校A、2位：妻中学校B、女子団体) 優勝：妻中学校B、霧島盆地柔道大会 中学女子3位：妻柔道クラブA

三真の轍^{わたち}

妻中の歴史・校門編

10月12・13日に秋桜祭を終え

妻中の秋桜祭も残すところあと一回。9月27日には開校式実行委員会も発足し、幕引きへのカウントダウンも間近となってきました。そこで今回より何度かに分けて、妻中の歴史を紹介したいと思います▼今回は「校門」について。開校当初、妻中の玄関は現在の体育館の東側あたりだったそうで、そこから現在のローソン方面へ進入路があり、国道219沿いに正門がありました(左絵参照)。記憶違いでなければ、私が中学生の頃は体育館の東側(現在の草地の場所)に二宮金次郎の像があつたのを覚えています。なぜこんな場所に像があるのか不思議に思っていました。こうして歴史を紐解くとその理由も分かります。その像は、現在の妻地区館の敷地内に設置されている像ではないかと推察します▼初代の正門(門は、昭和43

(1968)年5月20日に取り壊され、同年6月20日からは現在の北側門が正門となり、56年にわたって妻中学校の顔となつていきます(下写真参照)。北側正門ができた当時、前庭周辺はまだ舗装されておらず、庭の中央部には弥勒先生が制作された石像が鎮座しているのが見えます。懐かしい昭和の雰囲気が息づく校門周辺の風景には、古びた校門の校銘板もよく似合っています。(校長 伊東泰彦)



開校当時の校門風景

昭和40年代の校門風景



まだ舗装されていない昭和チックな前庭です

年季の入った校銘板。西都中の開校後はどうすべきか…、現在思案中です。



現在の校門風景

